

教育事業別報告書

事業名	リフレッシュ・キャンプ 福島復興支援事業なすかしドリームプロジェクトⅡ
趣 旨	未曾有の東日本大震災から二年余りの月日が経過した福島県。沿岸部は瓦礫の山で遅々として復興が進んでいないのに東日本大震災が風化しているとも言われている。まだまだ課題が山積している状況の中でも、地域社会の絆のおかげで、被災地は確実に復興に向けて歩み始めている。このような状況の中で、今の福島を見つめ現状について正しく理解し、これからの福島の未来を見つめたくましく生き抜いていく子どもたちを育成することが必要である。 そのために、様々な体験を通して、福島復興の方策を考え実践していく力を子どもたちに身につけさせるとともに、東日本大震災を風化させないことを誓いとして取り組んでいく。
期 間	平成25年 7月28日(日)～ 8月11日(日) 1泊15日 平成25年12月25日(水)～12月27日(金) 2泊 3日
募集人員 (募集結果)	心身ともに健康で、全日程参加できる福島県内(県外に避難している方も含む)の小学5・6年生の男女 20名 (参加者人数11人:6年生7名 男4女3, 5年生4名 男3女1) (フォローアップキャンプ) (参加者人数 9人:6年生5名 男4女1, 5年生4名 男3女1)

① 事業の特色

福島の未来を担う知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育てることを目的に、プログラムを企画した。特に、復興教育(震災復興学習、被災地学習、放射能学習)や、様々な自然体験活動(阿武隈川源流探検、阿武隈川サイクリング、100kmウォークなど)、15日間のプログラムを通して、たくましく生きる子どもたちを育てることを目的とした。

- 1日目 出合いのつどい、仲間づくり、オリエンテーション、グループミーティング
- 2日目 キャンプトレーニング(炊飯の仕方、テントの設営)、那須探検(MTB)1日目
本館 → 県道290 → マウントジーンズ那須 → 那須町野外研修センター泊
- 3日目 那須探検(MTB)2日目、自然体験活動(いわなつかみ、バーベキュー)
那須町野外研修センター → キャンプ場 → 本館
- 4日目 阿武隈川源流探検(源流にある雌滝の見学)
- 5日目 阿武隈川サイクリング1日目
本館 → 鏡石 → 玉川 → サイクリングロード → 本宮 → 仁井田地区公民館泊
- 6日目 阿武隈川サイクリング2日目、震災復興学習(福島県庁 復興庁)
仁井田地区公民館 → 二本松 → 福島 → 伊達 → やながわ希望の森公園キャンプ場泊
- 7日目 放射能学習(福島県農業総合センター)、阿武隈川サイクリング3日目
やながわ希望の森公園キャンプ場 → 伊達 → 丸森町 → 不動尊公園キャンプ場泊
- 8日目 阿武隈川サイクリング4日目、被災地学習(亘理地区)(相馬地区)
不動尊公園キャンプ場 → 亘理 → 荒浜小
- 9日目 いわき方面での被災地学習(アケマリンふくしま、いわき海星高校、スパリゾートハワイアンズ)
- 10日目 前半のふりかえり(作文、家族への手紙等)
- 11日目 100kmウォーク1日目 自然の家→羽鳥湖オートキャンプ場泊
- 12日目 100kmウォーク2日目 羽鳥湖オートキャンプ場→猪苗代湖畔秋山浜キャンプ場泊
- 13日目 100kmウォーク3日目 秋山浜キャンプ場→国立磐梯青少年交流の家
- 14日目 西郷村商工祭での活動、お別れパーティー
- 15日目 別れのつどい、2週間の感想発表
(フォローアップキャンプ)
- 1日目 出合いのつどい、雪遊び体験(スノーシューハイキング、そり)
- 2日目 スキー体験(マウントジーンズ那須)、お別れパーティー
- 3日目 二十歳の自分への作文、ふりかえり、コラボミュージアム見学、別れのつどい



【阿武隈川サイクリング】



【被災地学習(いわき海星高校)】



【100kmウォークゴール】



【スキー体験】

事業の成果と課題

<事業の成果>

- ・ 大変ハードなプログラム内容だったが、大きなケガもなく無事に終了することができた。当初の目的を達成できたと感じる。日々のふりかえりや、活動のふりかえりを大切にしたことにより、学び(福島の課題を知る)の多いプログラムを提供できた。

<事業の課題>

- ・ 次年度、さらに復興に向けてどのようなプログラムにしていくべきか、どのような他施設と連携していくべきか検討していかなければならない。

③ その他

- ・ 来年度も継続実施していく。